

中学生海外派遣認定式

9月21日(木)、揖斐川町役場で第20回中学生海外研修派遣事業認定書交付式が行われました。

この事業は、マラソンで交流のあるアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市に町の将来を担う中学生を派遣し、人々との交流を通じて文化や歴史などを学び、互いの友好関係を深めながら、国際性豊かな人材の育成を図ることを目的として行われています。

派遣される生徒たちは「積極的に話しかけてコミュニケーション能力を向上させたい」「町の代表・学校の代表として学んだことを伝えていきたい」と話していました。

町内中学校の代表派遣生徒18人は、1月18日(木)から26日(金)の間、セントジョージ市で海外研修を行います。



▲認定証を受け取る生徒

セントジョージマラソン 国際交流事業

10月4日(水)から10月11日(水)まで、揖斐川町の派遣団10人がアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市を訪れました。

10月7日(土)に行われたセントジョージマラソンには、昨年のいびがわマラソンで優秀な成績を収めたランナーの皆さんが参加しました。現地での成績は次のとおりです。(敬称略)

宮崎 健司	2時間54分56秒	(男子フル 87位)
富田 光江	2時間54分56秒	(男子フル 87位)
坪井 信親	3時間27分9秒	(女子フル 12位)
坪井 美奈	4時間6分30秒	(女子フル 820位)



▲左から坪井(信)さん、富田さん、坪井(美)さん、宮崎さん

くぜ幼稚園で人権擁護委員による創作劇が上演されました

8月29日(火)、くぜ幼稚園において、大垣人権擁護委員協議会による創作劇「ぞうさんのおはな」が上演されました。

14人の園児たちは、委員が扮したゾウやサル、カバなどが演じる劇を楽しみながら、個性を認め合うことの大切さを学びました。

揖斐川町人権擁護委員の森川誠さん(胄永)は、「創作劇を通じ、友だちを大切にすることを学んでほしい」と語られました。

なお、揖斐川町人権擁護委員会では、毎月1回揖斐公民館において、人権相談を実施しています。誰にも話せない悩みごとなどの相談を法務大臣が委嘱した人権擁護委員がお聴きします。

相談は無料で、秘密は固く守られます。相談日は、くらしのカレンダーをご確認ください。



▲動物に扮した擁護委員の方々

岐阜県林業経営コンクールの表彰

北方財産区管理会が「岐阜県林業経営コンクール」において、最優秀賞の表彰を受けました。

岐阜県では、多年にわたり優良な林業経営を行う林業経営者・法人・団体等を「岐阜県林業経営コンクール」において、毎年表彰しています。北方財産区は、森林の持つ機能を持続的に発揮し得るよう、森林を適正に育成管理してきた実績により、今回の受賞となりました。

8月25日、岐阜県庁で行われた表彰式には、野田勇北方財産区管理会委員長が出席し、賞を受賞されました。



▲賞を受けた北方財産区管理会委員長